

ヤーマン株式会社  
平成29年4月期第3四半期決算説明資料

平成29年3月14日

業績ハイライト	…	3
財務ハイライト	…	5
セグメント別売上	…	6
売上構成	…	8
第43期第3四半期のトピックス	…	9
第43期第4四半期以降の取り組み	…	10
業績予想	…	11

# 業績ハイライト

想定以上に販売が好調であったことに加え、原価低減や社内体制の整備などの取り組みの成果により、売上・利益ともに前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

回次	第41期 第3四半期 平成26年5月1日～ 平成27年1月31日	第42期 第3四半期 平成27年5月1日～ 平成28年1月31日	第43期 第3四半期 平成28年5月1日～ 平成29年1月31日	【ご参考】 第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日
売上高(千円)	9,192,644	12,049,252	14,867,965	16,310,824
営業利益(千円)	87,921	740,939	2,871,743	1,028,422
営業利益率(%)	1.0	6.1	19.3	6.3
経常利益(千円)	△23,144	704,388	2,927,137	1,002,211
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	△18,983	408,540	1,855,323	591,524
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	△3.25	70.02	325.33	101.55

※△は損失

## 【ご参考】直前期までの通期の実績との比較

回次	第40期 平成25年5月1日～ 平成26年4月30日	第41期 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 第3四半期 平成28年5月1日～ 平成29年1月31日
売上高(千円)	14,368,659	13,363,663	16,310,824	14,867,965
営業利益(千円)	373,108	647,821	1,028,422	2,871,743
営業利益率(%)	2.6	4.8	6.3	19.3
経常利益(千円)	374,141	514,718	1,002,211	2,927,137
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	219,792	311,835	591,524	1,855,323
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	37.67	53.44	101.55	325.33

# 財務ハイライト

手許資金が増加していますが、第4四半期以降も継続的にブランド認知のための大型の広告投資を行う計画であるほか、直販ECシステム入れ替え、新製品の研究開発、直営店の出店、海外展開などに充てる予定です。

回次	第41期 第3四半期 平成27年1月31日	第42期 第3四半期 平成28年1月31日	第43期 第3四半期 平成29年1月31日	【ご参考】 第42期 平成28年4月30日
総資産(千円)	9,772,725	11,049,251	12,871,576	11,373,593
純資産(千円)	6,403,485	6,930,764	8,471,016	6,817,278
自己資本比率(%)	65.5	62.7	65.8	59.9
現預金(千円)	3,539,839	5,469,803	7,819,746	5,813,824
売上債権(千円)	1,314,951	1,519,906	1,344,566	1,898,257
棚卸資産(千円)	3,246,113	2,244,585	1,907,583	1,793,573
仕入債務(千円)	1,332,116	1,091,731	1,065,964	1,194,229
有利子負債(千円)	1,158,504	1,716,650	1,217,526	1,593,538

# セグメント別売上

店販部門がインバウンド需要の好調に下支えされて大きく売上を伸ばしたほか、海外売上(主に中国本土)も好調を維持しました。

回次	第41期 第3四半期 平成26年5月1日～ 平成27年1月31日	第42期 第3四半期 平成27年5月1日～ 平成28年1月31日	第43期 第3四半期 平成28年5月1日～ 平成29年1月31日	【ご参考】 第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日
通販部門(千円)	3,899,168	3,574,708	3,688,140	4,770,882
店販部門(千円)	2,272,590	3,013,095	4,730,820	4,364,668
直販部門(千円)	2,668,086	4,990,234	4,583,525	6,406,546
その他(千円)	352,799	471,212	1,865,479	768,726
合計(千円)	9,192,644	12,049,252	14,867,965	16,310,824

※その他には、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.Aなどが含まれます。

## 【ご参考】直前期までの通期の実績との比較

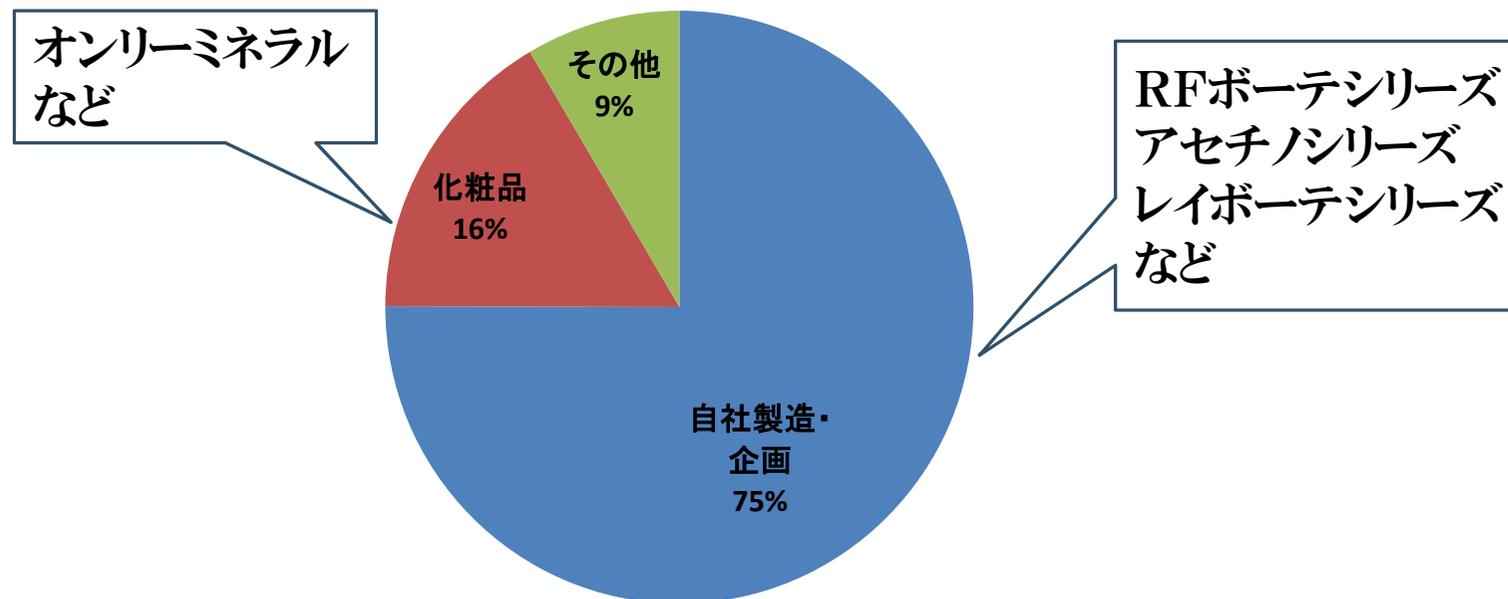
回次	第40期 平成25年5月1日～ 平成26年4月30日	第41期 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 第3四半期 平成28年5月1日～ 平成29年1月31日
通販部門(千円)	5,899,968	5,338,088	4,770,882	3,688,140
店販部門(千円)	2,707,333	3,496,485	4,364,668	4,730,820
直販部門(千円)	5,285,325	4,027,476	6,406,546	4,583,525
その他(千円)	476,031	501,613	768,726	1,865,479
合計(千円)	14,368,659	13,363,663	16,310,824	14,867,965

※その他には、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.Aなどが含まれます。

# 売上構成

当第3四半期(平成28年5月～平成29年1月)の売上の構成は、自社開発製品及び自社企画製造委託品が75%、化粧品が16%、その他が9%。

自社開発製品及び自社企画製造委託品の中でも、ラジオ波を使った美顔器「RFボーテシリーズ」が特に好調で、売上を牽引しました。



## 第43期第3四半期のトピックス

### ■ アセチノメガシェイプのTVCMを放送しました。

オリジナルキャラクターのフルCGによるTVCMを、関東・名古屋・大阪・広島・福岡各エリアの地上波にて放送いたしました。



## 第43期第4四半期以降の取り組み

- 原価低減や社内体制の整備などの取り組みが奏功したことにより、大きくコスト削減を図ることができました。これらを第4四半期以降も継続し、足元の体質強化に努めてまいります。
- ヤーマンブランドの浸透を図るため、引き続き社名広告や個別の製商品のTVCMなどに一定金額を投資していく計画です。
- 当社の最大の強みである自社開発をさらに強化するため、デザインを含めた研究開発活動についても積極的に経営資源を投下し、お客様のニーズにきめ細かく応えてまいります。

## 業績予想

通期の業績予想につきましては、平成28年11月14日付で上方修正開示した数字をそのまま据え置いておりますが、更なる修正の必要が生じた場合には、直ちに開示する予定です。

また、配当につきましても、通期の利益水準を見極めながら、検討してまいります。

回次	第40期 (実績) 平成25年5月1日～ 平成26年4月30日	第41期 (実績) 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 (実績) 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 (予想) 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日
売上高(千円)	14,368,659	13,363,663	16,310,824	19,253,991
営業利益(千円)	373,108	647,821	1,028,422	2,836,856
経常利益(千円)	374,141	514,718	1,002,211	2,832,630
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	219,792	311,835	591,524	1,818,611
1株当たり当期純利益(円)	37.67	53.44	101.55	318.90

- \* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- \* 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- \* 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。